

機能概要



アジェンダ

イントロダク

ションユーザ

ストーリー

有効化の手順および注記

前提条件、制限事項、注意事項機能の

詳細

導入: 生成を使用した請求書エラーメッセージの分類 挿入広告 (NP-38941)

機能の説明

- ・ 外部請求書処理システムからの請求書拒否は、半構造 形式の複数の拒否理由で構成されます。これらの拒否 は、入力されたユーザと、システムで生成された拒否 理由で構成されます。
- 請求書エラーの分類とは、これらの外部却下を異なる却下 カテゴリに分離して分類し、大規模言語モデルによる各却 下に固有の正確な情報を抽出することです。適用可能な場 合、これらの拒否カテゴリは、外部請求書処理システムか らの例外タイプを表します。
- ・ 分類却下により、サプライヤに対し、却下に関連する 却下レベル (汎用、ヘッダー、行)、却下の詳細 (明細番 号、品番、説明)、却下カテゴリ、および請求書フィー ルドに関する正確な情報が提供されます。
- Business Network で生成される拒否カテゴリは、請求書登録時の拒否分析、拒否解決の推奨、および最終的なエラー検出に関連するすべての将来の使用ケースの基礎ユニットです。

主な利点

• サプライヤは、大量の拒否理由を読み込んで 理解するのではなく、理解しやすく、実用的 な正確な拒否カテゴリにアクセスできるよう になったため、是正措置に要する時間が短縮 されます。 オーディエンスサプライヤ

イネーブルメントモデ ル:

顧客による設定

対象ソリューション:

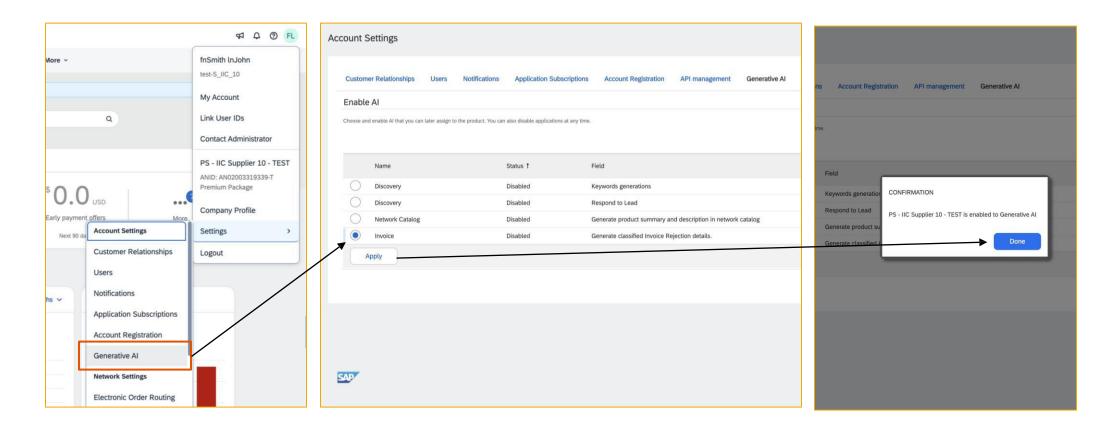
SAP Business Network

ユーザストーリー

- サプライヤは、請求書ドキュメント内で GenAI 機能を使用して、詳細な却下理由を簡潔で直観的な却下カテゴリに変換し、 分析
- 基本的なプロセスステップは以下のとおりです。
 - 請求書に対する生成 AI の優先設定の有効化 (1回)
 - 「却下済みの請求書」タイルに移動し、請求書を選択します。
 - 'AI によるエラーのシンプル化' の有効化
 - 詳細な拒否テキストから生成された拒否カテゴリを表示します。
- この機能により、詳細な却下テキストが簡潔で理解しやすく、実用的な却下カテゴリに自動的に変換されます。
- その結果、請求書が却下されたすべての理由を確認し、迅速なアクションを実行することができます。

有効化の手順および注記

• サプライヤは請求書に対して生成 AI 設定を有効化する必要があります。



前提条件、制限事項、注意事項

前提条件

none です。

制限

none です。

注意

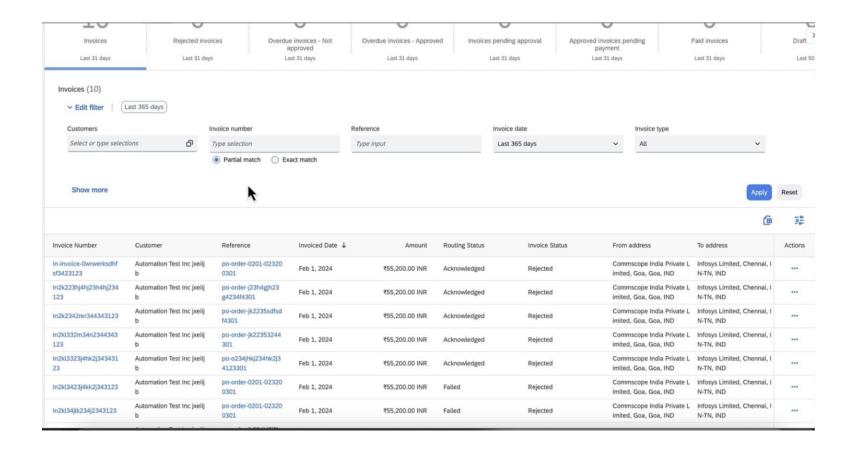
none です。

機能の詳細

- ソリューションの仕組み:
 - 請求書の一般 AI 優先の有効化 (1回)
 - [却下済みの請求書] タイルに移動し、請求書を選択します。
 - 'AI によるエラーのシンプル化' の有効化
 - 詳細な拒否テキストから生成された拒否カテゴリを表示します。
- ソリューションの制限:
 - none です。
- 以下のスライドでは、このシナリオのシステムナビゲーションについて説明します。

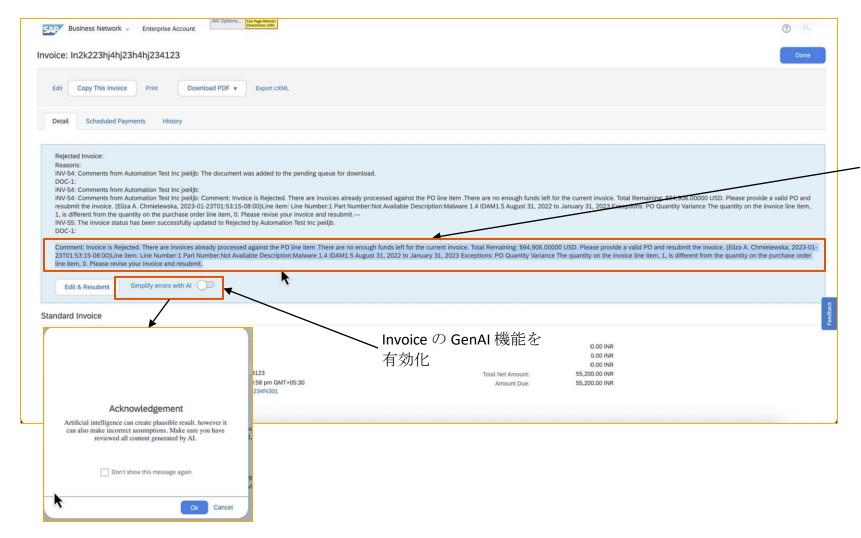
機能ナビゲーション - ステップ1

[却下済みの請求書]タイルに移動する



機能ナビゲーション - ステップ 2

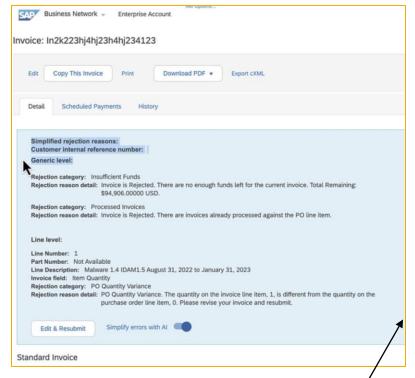
選択した請求書の元の却下理由を表示し、請求書で GenAI 機能を有効化する

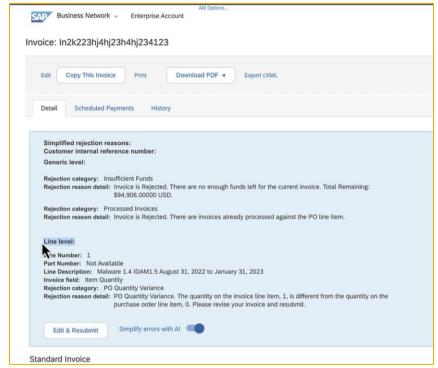


ロー入力としての請求書の詳細拒否テキスト

機能ナビゲーション - ステップ3

GenAIでは、簡潔なヘッダーおよび明細レベルの却下カテゴリが生成されます。





生成 AI によるヘッダレベル拒否カテゴリの 登録 _ 明細レベルの拒否カテゴリも自動生成され ます

ありがとうございます。

Pushpendu Sarkar (p.sarkar@sap.com)



フォローをお願いします。









www.sap.com/contactsap

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的許可なしに、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じ ます。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE およびその頒布業者が販売するソフトウェア製品には、他 のソフトウェア会社が所有権を有するソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これら の文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサ ービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかな る記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、ま たはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、若しくは関連の提示物、及びSAP SE 若しくは その関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしで変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは 機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を 伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に 依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE(又は SAP の関連会社)の商標若しくは登録商標 です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、 www.sap.com/trademark をご覧ください。

